

★江の川では治水事業の一つとして、地域特性を考慮し宅地をかさ上げすることにより、治水の安全を確保しつつ、土地も有効活用できる「土地利用一体型水防災事業」を取り入れるなど、地元自治体と連携して効率的・効果的な治水対策を推進しています。

★今年度は、昭和61年度に全国で初めて水防災事業に着手して30年になります。これまでに江の川（島根県）では13箇所が完成し、現在は1箇所を整備中です。

全国初の水防災事業
【島根県江津市志谷地区】

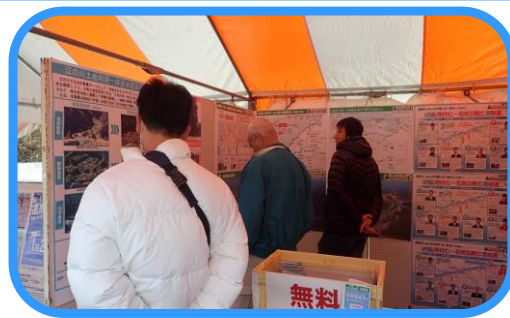
江の川土地利用一体型水防災事業

江の川では治水事業の一つとして、宅地をかさ上げすることにより、治水の安全を確保しつつ、土地も有効活用できる「土地利用一体型水防災事業」を実施するなど、地元自治体と連携して事業推進し、地域の発展に寄与しています。なお、本事業は昭和61年度に全国初めて志谷地区で開始し、30年を迎えます。

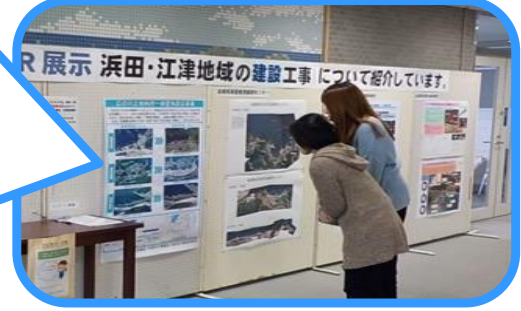
昭和48年	事業実施前 before	事業実施後 after
昭和50年	事業実施前 before	事業実施後 after
昭和52年	事業実施前 before	事業実施後 after
昭和54年	事業実施前 before	事業実施後 after
昭和56年	事業実施前 before	事業実施後 after
昭和58年	事業実施前 before	事業実施後 after
昭和60年	事業実施前 before	事業実施後 after



【土木の日PR展示】



【しおかぜ駅伝応援&記念ウォーキング & ステージイベント】



水防災事業は地域の皆様のご協力はもちろん、『生まれ育った場所で安心・安全に暮らしたい』という意志が必要です。この度、事業着手30周年の節目の年にあたり、地域の方々に治水施設の役割や地域の水害リスクについて再認識いただくこと、また、地域に根付いたコミュニティを活かし、地域の防災意識を高めていただくことを目的として、パネル展示を実施しました。